

# ■事故危険区間対策事業 事業行程表

資料-3

		H22年度		H23年度						H24年度	H25年度以降
		2月	3月	4-5月	6月	7-9月	10月	11-3月	H24年度		
H23事業	事故データ分析	各地域選定会議 (各2箇所選定)  全県事故危険区間集約		対策工法の検討・経費の算出	公表 (方法・箇所に対する意見) みちづくり評議会	事業着手	公表 (実施箇所の紹介) みちづくり評議会	事業完了	事後評価		
	危険区間リスト作成				公表 (実施結果の紹介) みちづくり評議会						
H24事業	凡例 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #87ceeb; padding: 5px; border: 1px solid black;">県庁作業</div> <div style="background-color: #f08080; padding: 5px; border: 1px solid black;">各公所作業</div> </div>		第3者意見 各地域	全県対策箇所11箇所(案)の選定	第3者意見 県全体	公表 (対策箇所の紹介・工法の検討) 各地域選定会議	第3者意見 県全体	公表 (実施結果の紹介) みちづくり評議会	第3者意見 県全体	公表 (実施結果の紹介) みちづくり評議会	第3者意見 県全体

## H23年度 事故危険区間対策箇所一覧

各 地 域 別 区 間						紹介事例
公所名	区間数	選定区間				
		路線名	箇所	交差点名等	H17-20 事故件数	
村山 <small>(本庁舎)</small>	3	(国)348号 (主)山形白鷹線	山形市南館	南館	82	事例①
		(国)348号	山形市南館	陽文堂前	29	
		(一)下原山形停車場線 (主)山形朝日線	山形市香澄町	すずらん街	34	
村山 <small>(西庁舎)</small>	1	(主)天童大江線	寒河江市寒河江	—	24	対策中
村山 <small>(北庁舎)</small>	1	(一)東根大森工業団地線	東根市上縄目	東根陸橋	9	事例②
最上	1	(主)新庄停車場線	新庄市大町	—	9	事例③
置賜 <small>(本庁舎)</small>	2	(一)米沢環状線	米沢市金池5丁目	市役所前	17	事例④
		(主)米沢高畠線	米沢市金池5丁目	市営体育館前	12	
置賜 <small>(西庁舎)</small>	1	(国)287号	長井市館町北	—	11	対策中
庄内	2	(一)面野山鶴岡線	鶴岡市東新斎町	—	24	事例⑤
		(主)鶴岡羽黒線	鶴岡市みどり町	—	18	事例⑥
	11					

青枠:対策前  
赤枠:対策後

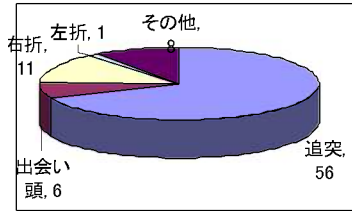
対策工法

・中央線上にラバーポール、樹脂ブロック設置(右折抑制)



事故発生状況

南館交差点～(主)山形白鷹線

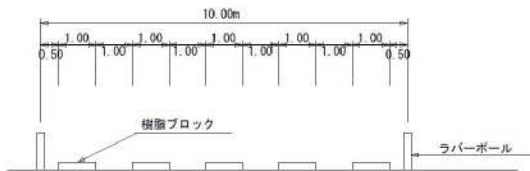


H17～H20 82件  
(うち死亡事故0件)



【イメージ】ラバーポール

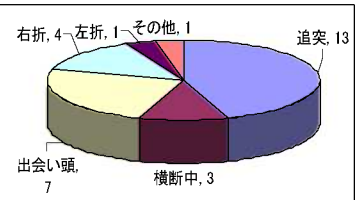
ラバーポール&樹脂ブロック標準配置  
(延長10mあたり)



交差点以外の右折車に起因する事故が多発しているため、右折抑制を目的としたラバーポールや樹脂ブロックを設置し、事故軽減につなげる。

事故発生状況

(国)348号



H17～H20 29件  
(うち死亡事故0件)



【イメージ】ラバーポール + 樹脂ブロック

事業説明会において、地元より「交通事故が多いのは、道路幅が狭い事が危険の根本的な原因である。道路幅を広げる対策が必要ではないか。」という意見があり、今後この問題に対する検討を行うこととした。→別添①

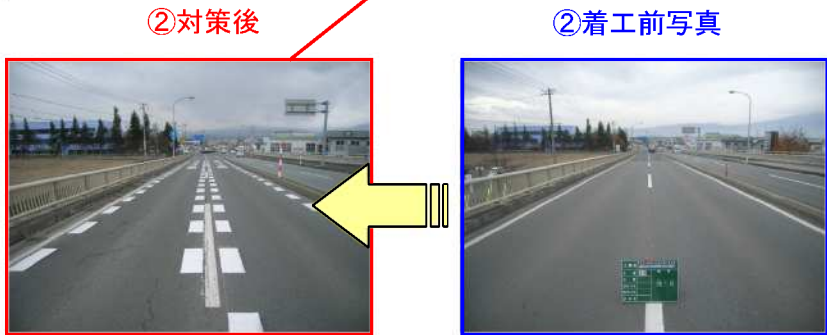
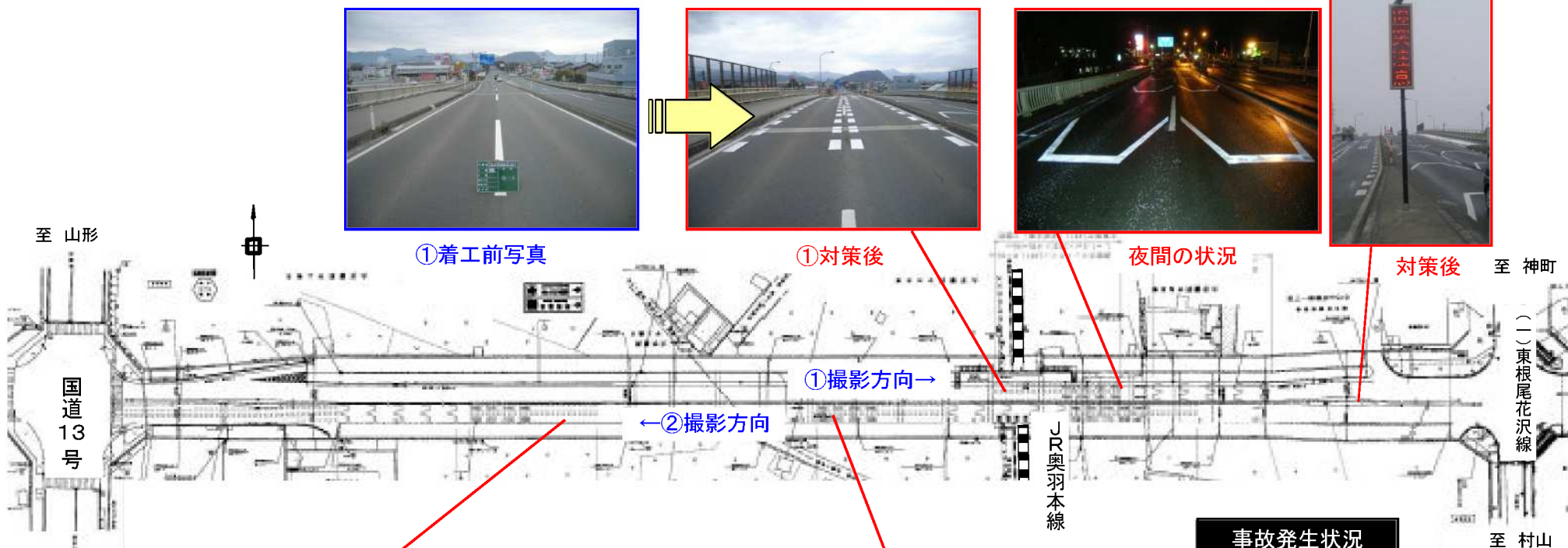


対策工法

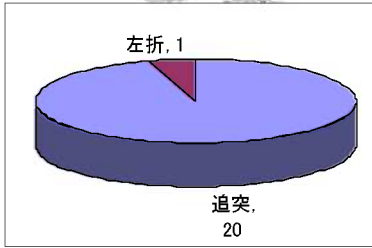
- ・区画線工(ドットライン、追突注意、減速マーク)
- ・電光表示板(追突注意)

青枠:対策前  
赤枠:対策後

跨線橋で滞留している車両が見えづらいため追突事故が多く、地元関係者の意見聴取で要望のあった路面標示や電光標示による注意喚起で事故軽減につなげる。



事故発生状況



H17~H22 21件  
(うち死亡事故0件)



対策工法

- ・区画線工(ドットライン、追突注意)
- ・カラー舗装(交差点手前)

横断中の人身事故や追突事故が多いことから、交差点を認識させるために交差点手前のカラー化や路面標示による注意喚起で事故軽減につなげる。

青枠: 対策前  
赤枠: 対策後



夜間の状況



対策後

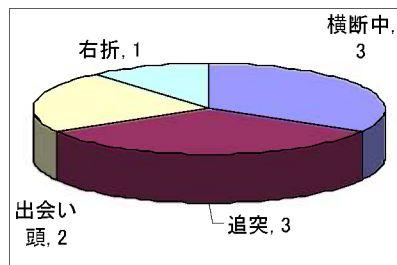


①着工前



①対策後

事故発生状況



H17~H20 9件  
(うち死亡事故0件)

青枠:対策前  
赤枠:対策後

対策工法

- ・区画線工(ドットライン、追突注意、右折誘導線)
- ・カラー舗装(横断歩道部)

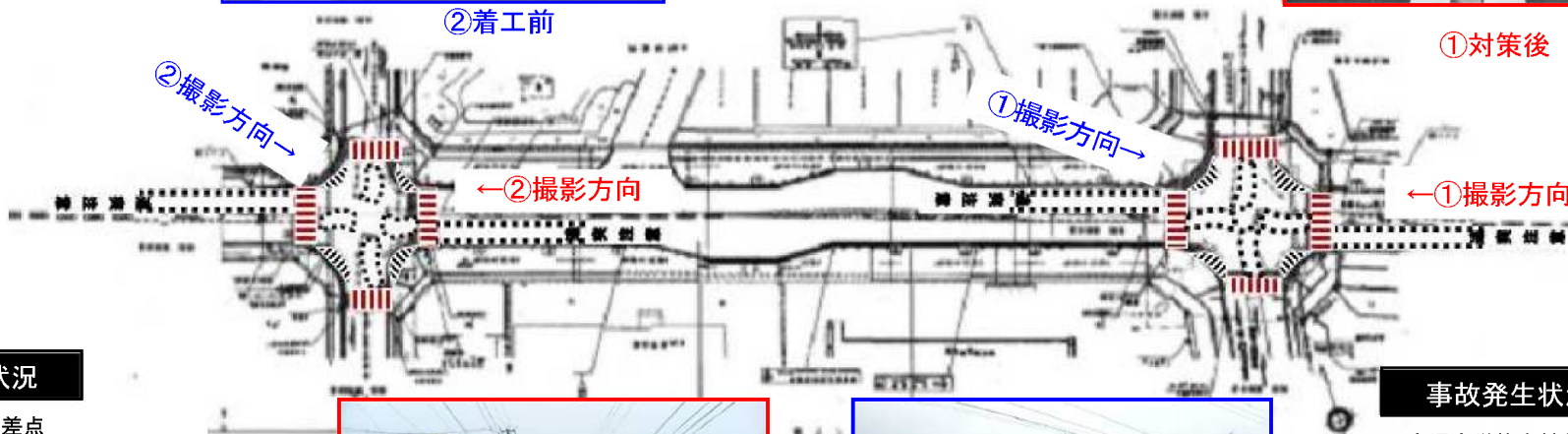


②着工前

追突事故や交差点内の事故が多いため、交差点を狭く見せて右左折時の速度を抑制し、横断歩道部のカラー化や路面標示による注意喚起で事故軽減につなげる。

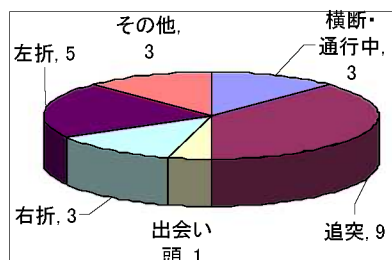


①対策後



事故発生状況

米沢市役所前交差点



H17~H20 24件  
(うち死亡事故0件)



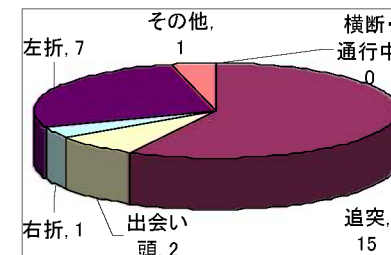
②対策後



①着工前

事故発生状況

米沢市営体育館前交差点



H17~H20 26件  
(うち死亡事故0件)



対策工法

- ・区画線工(ドットライン、追突注意)
- ・カラー舗装(交差点手前、横断歩道部、市道横断部)

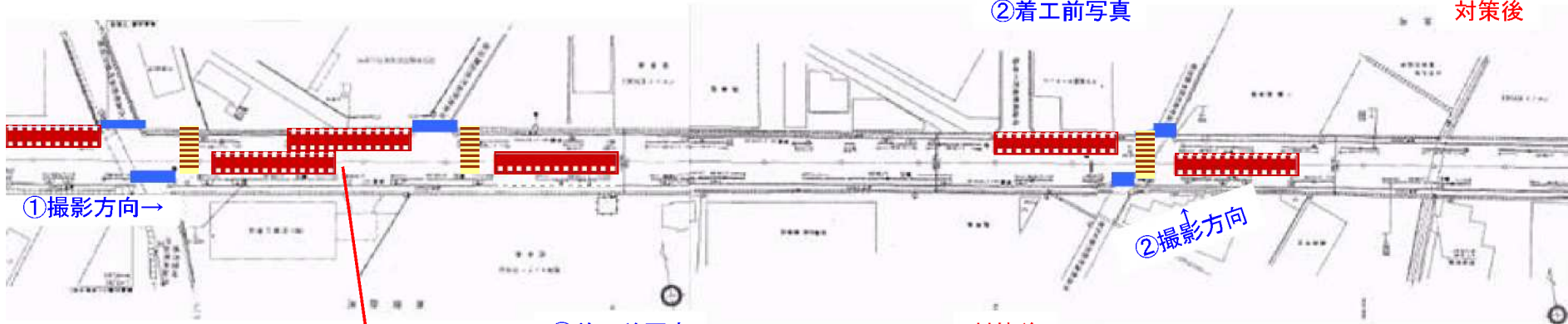
青枠:対策前  
赤枠:対策後

交通量が多く、また交差する市道が多いことから追突事故や出会い頭の事故が多くなっている。このため市道交差点をカラー化して強調したり、横断歩道やその前後をカラー化と路面標示で強調することで事故軽減につなげる。



②着工前写真

対策後



①撮影方向→

②撮影方向

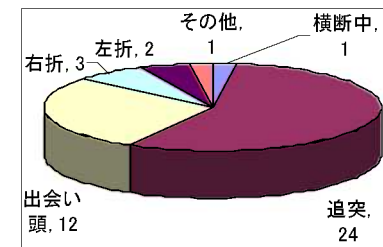
対策後

①着工前写真

対策後



事故発生状況



H17~H20 43件  
(うち死亡事故0件)

青枠:対策前  
赤枠:対策後



対策工法

- ・区画線工(ドットライン、追突注意)
- ・カラー舗装(交差点手前、横断歩道部、市道横断部)

交通量が多く、また交差する市道が多いことから追突事故や出会い頭の事故が多くなっている。このため市道交差点をカラー化して強調したり、横断歩道やその前後をカラー化と路面標示で強調することで事故軽減につなげる。



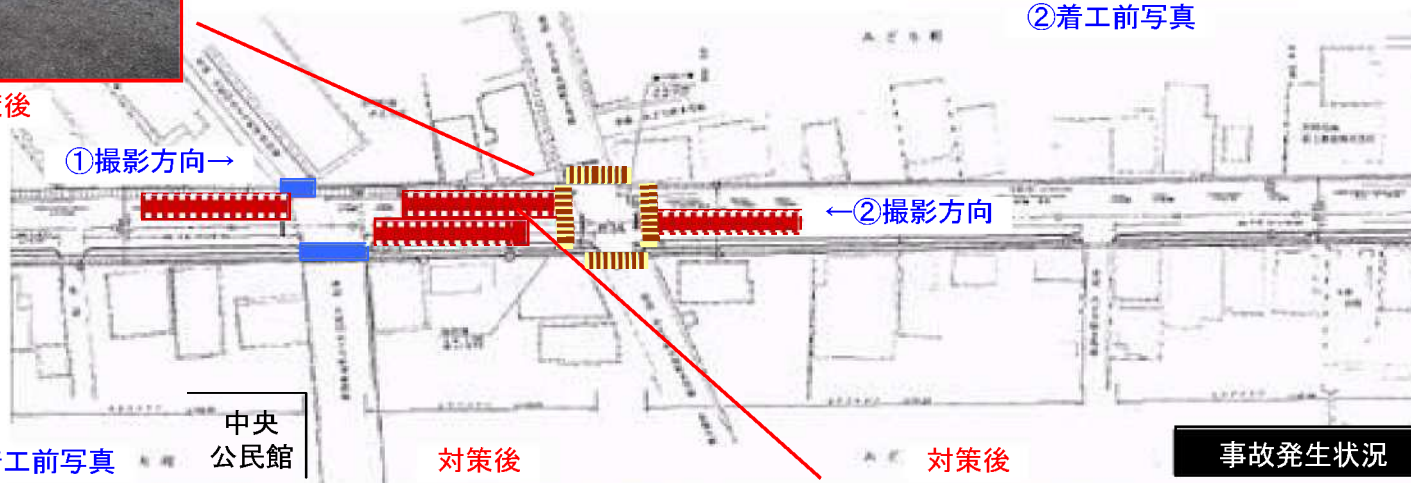
対策後



②着工前写真



対策後



①着工前写真

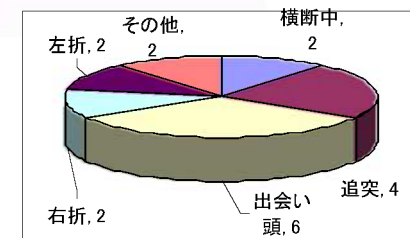


対策後



対策後

事故発生状況



H17~H20 18件  
(うち死亡事故0件)



# H24年度 事故危険区間対策 予算要望箇所一覧

## 各地域別 区間選定

公所名	区間リスト数	選定区間					
		区間数	路線名	箇所	交差点名等	H18-21 事故件数	紹介事例
村山 (本庁舎)	64 事故件数 10件以上	3	(国)286号	山形市南原町	六中前	44	
			(主)山形朝日線	山形市城西町	吉野家前	32	→今後検討する事例 別添①
			(国)348号	山形市南一番町	—	58	
村山 (西庁舎)	15 事故件数 上位15箇所	2	(主)天童大江線	寒河江市寒河江	フローラ前	12	
			(一)元町高屋線	寒河江市栄町	—	12	→今後検討する事例 別添②
			(国)287号	寒河江市中郷	—	10	
村山 (北庁舎)	5 事故件数 上位5箇所	2	(一)東根大森工業団地線	東根市一本木	東根イオン南 駐車場付近	9	
			(一)東根大森工業団地線	東根市大森	—	8	
最上	5 事故件数 上位5箇所	2	(主)新庄戸沢線	新庄市下金沢町	—	5	
			(国)458号	新庄市下西山	—	6	
置賜 (本庁舎)	14 事故件数 10件以上	2	(一)米沢浅川高畠線	米沢市春日二丁目	—	10	
			(国)121号	米沢市徳町	—	15	
置賜 (西庁舎)	6 事故件数 上位6箇所	1	(一)椿長井線	長井市小出	—	11	
庄内	8 事故件数 12件以上	2	(主)鶴岡羽黒線	鶴岡市本町一丁目	—	12	
			(国)112号	酒田市若竹町	—	25	
117		14	H24予算要望額 C=80,000千円				

# 別添① 今後検討する事例

(主)山形白鷹線～(主)山形朝日線(西回りバイパス)



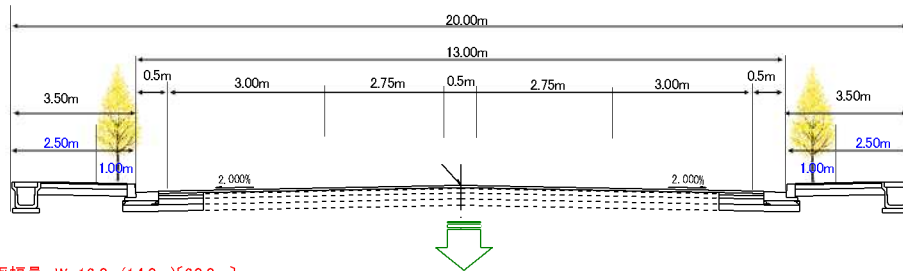
西回りバイパスの課題の検討。  
(街路樹を伐採し、車道幅員と歩行空間を確保できないか検討中)

街路樹のあり方について沿線の方にアンケートを実施(H23.11)  
《アンケート結果》

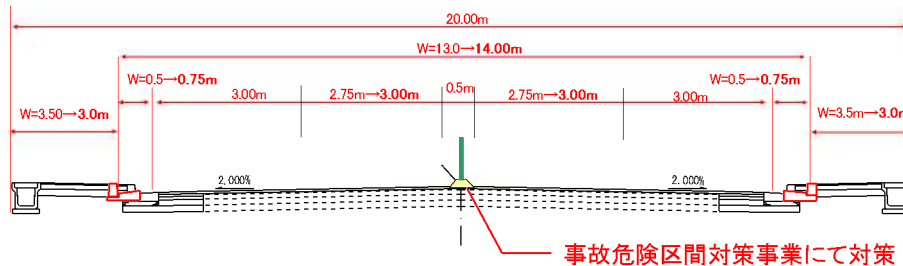
- ①伐採した方がよい 62%  
(理由:見通しが悪く危険。落葉や虫の処理が面倒など。)
  - ②伐採しない方がよい 25%  
(理由:景観や夏場の日陰、道路の誘導や歩行者の防護など。)
- アンケート結果を沿線の方へお知らせ。(H24.1)

(検討例イメージ)

現況幅員 W=11.5m(13.0m)[20.0m]



計画幅員 W=12.0m(14.0m)[20.0m]



現況写真



現況写真

【検討例】

・街路樹を伐採し、車道幅員をW=13.0mからW=14.0mへ拡幅。

・歩道幅員をW=3.5mからW=3.0mへ減少させ、歩行者の通行幅をW=2.5mからW=3.0mへ広げる。

# 別添② 今後検討する事例

## (一)元町高屋線 寒河江市若葉町



地域の意見を踏まえ簡易的な対策だけでは十分な効果が見込めないため、歩道改善を含めた交通安全対策を検討する。

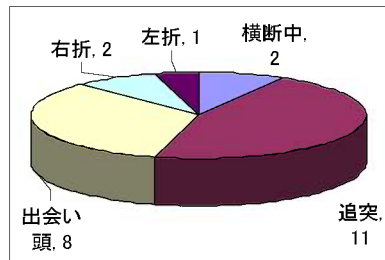
### 【現在の状況】

- ・当該路線は、追突・出会い頭・横断中の事故が多い。
- ・狭い歩道に電柱が立ち並んでおり、民家の出入り部において段差があるため歩きにくい歩道となっている。特に、冬期間は歩道除雪が出来ず歩行者は車道を通行している。

### 【検討内容】

- ・車道を通行・横断する歩行者が、車の通行を妨げ事故の一因となっていると考えられるため、歩道内の電柱を移転し歩道を拡幅するとともに歩道の段差も解消する。
- ・追突注意等の注意喚起も検討する。

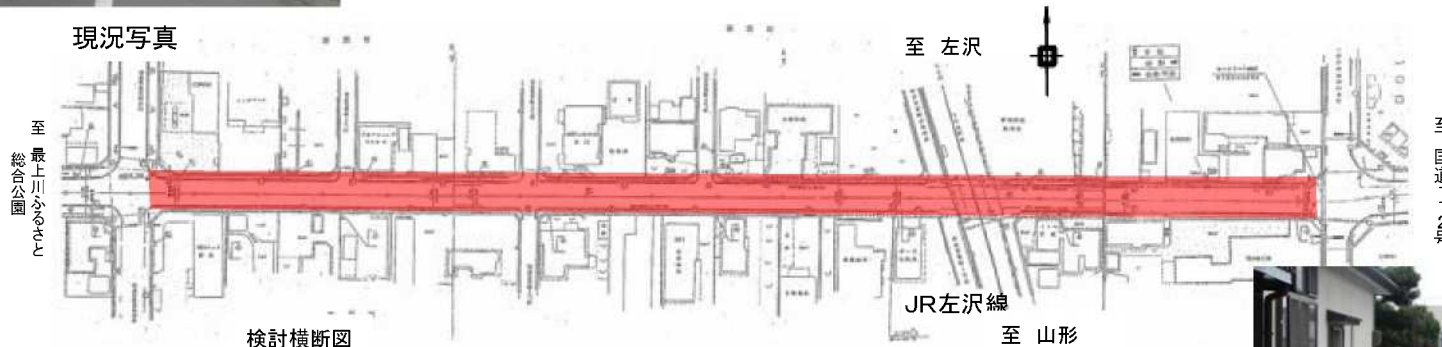
### 事故発生状況



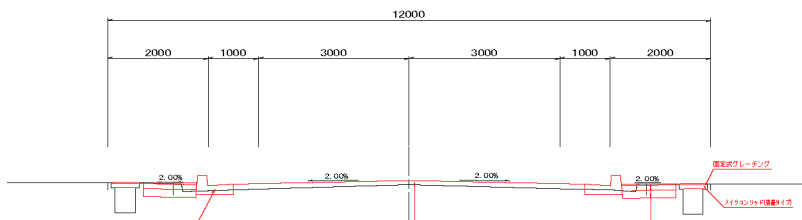
H18～H21 24件  
(うち死亡事故0件)



現況写真



検討横断面



現況写真